

組報

みなみそ

第10号

2011(平成23)年3月1日

浄土真宗本願寺派東京教区南組 大田区本羽田3-17-6 海岸寺内 TEL.3742-0921

親鸞聖人750回大遠忌

特集

生涯夕イブ!

P3-4-5



目次

P2 ^{だい ばん き}大遠忌って何?

P6— 仏 婦 総 会 ・ 研 修 会

P7— 連 続 研 修 会

お待ち受け

写真特集

P8
法 要



親鸞聖人750回大遠忌法要がいよいよ4月9日から京都のご本山・御影堂で勤修されます。50年に1度しか巡ってこない聖人の年忌法要。そこで今回は5ページにわたっての特集です。大遠忌を知り、私たちに真実の教えをお伝えいただいた聖人のご生涯を偲びつつ、ご勝縁をお迎えさせていただきます。

振興計画を作り、いろいろな事業を推進しています。

を偲び、お念仏大事という心を確認させていただくという感動的な法要になると思います。このほか幼児や青少年が対象の法要行事も企画されています。法要以外の事業計画には、現代社会に応える教学・伝道態勢の構築と、み教えに生きる「人」の育成があります。

宗門は時代の激変や要請に勇氣を持つて応えていかなければなりません。具体的には人口の過疎・過密といった変化への対応や言葉の変質によ

昨年4月に行われた総代・世話人研修会では、東京教区選出宗会議員の石上智康氏から「親鸞聖人750回大遠忌に向けて」と題してご講演いただきました。

宗門では、スローガン

「世のなか安穩なれ」のもと、「新たな始まり〜明日の宗門の基盤作り」をコンセプトとして長期

50年に1度の年忌法要 御影堂で56日間で110座

本山での大遠忌法要は、平成23年4月9日から平成24年1月16日まで、56日間110座営まれます。御影堂には3500のいす席を設置します。

法要の内容は、親鸞聖人がお書きくださったご和讃を中心とした新しい法要形式（宗祖讃仰作法第一種）と、正信念仏偈を用いた音楽法要（宗祖讃仰作法第三種）の2種類ございます。いずれも参拝者が共に声高らかに唱和して、ご恩

を偲び、お念仏大事という心を確認させていただくという感動的な法要になると思います。このほか幼児や青少年が対象の法要行事も企画されています。法要以外の事業計画には、現代社会に応える教学・伝道態勢の構築と、み教えに生きる「人」の育成があります。

また、東京首都圏でも地域の重要性を鑑みて、抜本的な改革をもつて開教に取り組みます。50年に1度のご勝縁であります大遠忌法要の円成、そしてお念仏のさらなる広がりのため共に努力いたしましょう。

本山の法要日程

平成23年

4月9日～	4月16日	8日間・16座
5月9日～	5月16日	8日間・16座
6月9日～	6月16日	8日間・16座
9月9日～	9月16日	8日間・16座
10月9日～	10月16日	8日間・16座
11月9日～	11月16日	8日間・16座

平成24年 御正當

1月9日～	1月16日	8日間・14座
-------	-------	---------

午前・午後の2座が基本

午前 9時30分～	総局挨拶・記念布教・縁儀
午前 10時00分～	大遠忌法要
午後 2時00分～	総局挨拶・記念布教・縁儀
午後 2時30分～	大遠忌法要

★南組の団体参拝は6月9日の午後です。



激動の時代に波乱万丈の人生を送られた親鸞聖人のご生涯をクイズで振り返ります。ご誕生からご往生まで年代順に出題いたします。チャレンジしてみてください。答えと解説は次の頁にあります。

親鸞聖人のご生涯クイズ

ご誕生

Q1

お誕生日は1173(承安3)年、何月何日でしょう?

A、4月8日 B、5月21日 C、12月25日

Q2

得度(出家)は何歳の時でしょう?

A、9歳 B、10歳 C、12歳

Q3

得度された後、学問と修業に励まれた山は?

A、高野山 B、比叡山 C、富士山

29歳

Q4

山を下った聖人が、弟子入りした僧侶は?

A、蓮如上人 B、弘法大師 C、法然上人

35歳

Q5

朝廷からの弾圧で流罪となり、送られた場所は?

A、近江 B、出雲 C、越後

Q6

この頃、ご結婚される女性の名前は?

A、恵信尼 B、覚信尼 C、小野小町

42歳~

Q7

関東で一番長く滞在されたのは何処?

A、群馬 B、東京 C、茨城

Q8

後に浄土真宗の本典と呼ばれる書物は?

A、大蔵経 B、教行信証 C、選択集

60歳頃

Q9

京都に戻られてから執筆された書物は?

A、三帖和讃 B、歎異抄 C、御文章

ご往生

Q10

ご往生は何歳の時でしょう?

A、77歳 B、90歳 C、100歳



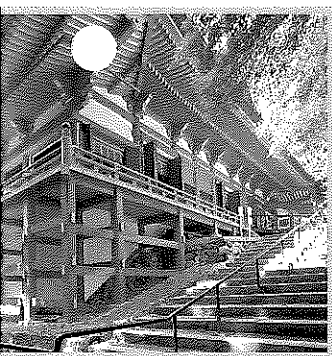
真宗教室

山
元)年9歳/得度
1181(養和ようわ元)年ご誕生
1173(承安じょうあん3)年

3の正解

B、比叡山

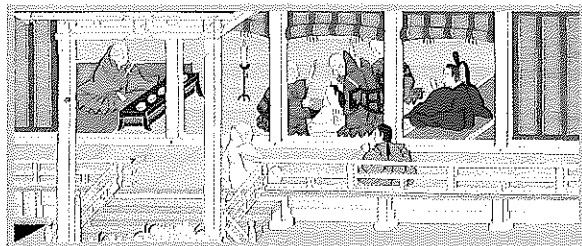
比叡山にのぼられ、主に横川の首楞嚴院で約20年間、厳しい修行と学問に励まれましたが、悟りに至る道を見出すことができず、29歳の時に



2の正解

A、9歳

9歳の春、京都東山の青蓮院で得度式を受けられ、範宴と名のられました。幼年期は公家から武家へ移り変わる時期で、藤原氏一門であったご家族には大変なご苦労があったようです。



得度の様子(御絵伝)

1の正解

B、5月21日

平安時代も終わりに近い1173(承安3)年5月21日、京都伏見の日野の里(現在は日野誕生院)でお生まれになりました。父は藤原氏の流れをくむ日野有範、母は吉光女と伝えられています。

京都の本山では毎年5月21日に「宗祖降誕会」を勤修。祝賀能やお茶席など記念行事も行われ、多くの参拝者で賑わいます。※4月8日はお釈迦さまの誕生日です。

帰洛
1)かてい元)年頃42歳/関東へ
1214(建保けんぽう2)年

0の正解

A、三帖和讃

『浄土和讃』、『高僧和讃』、『正像末和讃』の総称を『三帖和讃』と呼びます。やさしい仮名を用いて書かれています。

『歎異抄』は聖人の弟子・唯円が書かれたもの

8の正解

B、教行信証

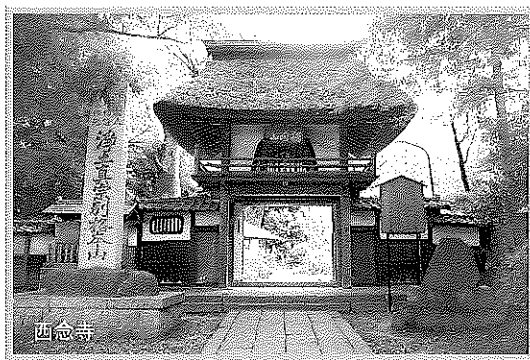
浄土真宗の立教開宗の書で、聖人が真実の教えを伝えたいという強い思いから書かれました。正式には「顕浄土真実教行証文類」といい、全6巻からなります。完成するのは晩年で、京都に戻られた後も加筆訂正され、推敲が重ねられました。



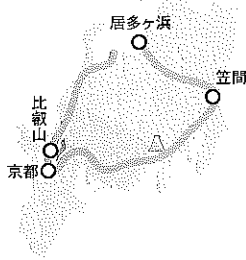
7の正解

C、茨城

42歳の時にご家族とともに関東に向かわれ、現在の茨城県笠間市にあった稲田の草庵(西念寺)を拠点に伝道布教されますと多くの念仏者が育ちました。



西念寺



タイズの答えと解説

35歳／越後へ
1207(承元じょうげん元)年

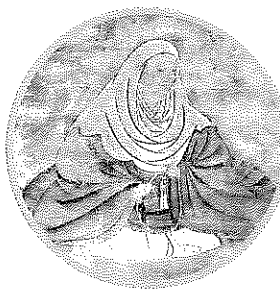
29歳／下
1201(建仁けんにん元)

6の正解

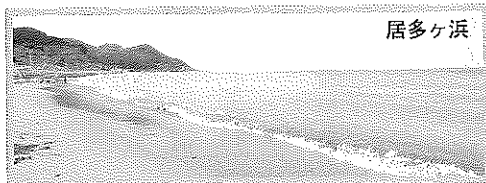
A、恵信尼

本願寺所蔵の「恵信尼文書」は、末娘の覚信尼さまに宛てられたものが中心ですが、聖人の生涯を今に伝える貴重な資料となっています。

越後では恵信尼さまと結婚され、男女6人の子どもをもうけられました。流罪で還俗させられた聖人は、「非僧非俗(僧にあらざ、俗にあらず)」の立場に立たれ、「愚禿親鸞」と名のられました。



恵信尼さま



居多ヶ浜

5の正解

C、越後

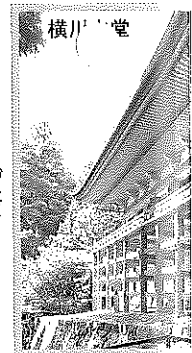
お念仏の教えが広まると、比叡山や奈良の仏教教団からの反発が強くなり、ついには1207(承元元)年、後鳥羽上皇からお念仏の教えが禁止され、法然上人は土佐、35歳の聖人は越後の国府(居多ヶ浜)に流罪となりました。

4の正解

C、法然上人

山を下り、京都の六角堂に100日参籠された聖人は、聖徳太子からの夢告を受けて、阿弥陀仏の本願を信じて念仏を称えることが、すべての人々が等しく救われる道(専修念仏)と説かれた法然上人(源空)に弟子入りします。

聖人は「法然上人にだまされて念仏して地獄に堕ちたとしても後悔しない」と言われるほど信じられていました。



六角堂

皆さんは何問正解されましたか?

●● 検定 ●●

全問正解

まさに妙好人。これからもお寺を支えてください。

7問以上

深く学ばれています。お寺の活動に実践的な関わりを。

4問以上

とても熱心です。ますますお聴聞に励みましょう。

3問以下

仏道を歩み始めたばかり。お寺とともに学びましょう。

ご往生

1263(弘長こうちょう2)年

京

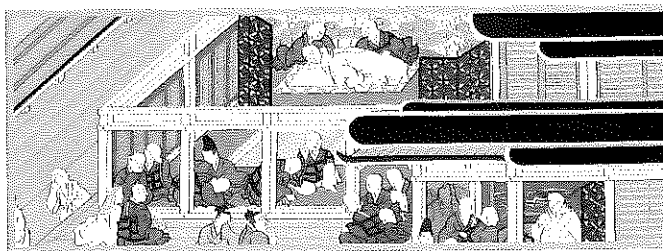
1235(嘉祥)

10の正解

B、90歳

本山では毎年1月9日から16日まで、御正忌報恩講が勤修。全国から多くの門徒が参拝し、聖人のご遺徳を偲んでいます。

1263(弘長2)年1月16日に末娘の覚信尼さまや弟子たちに見守られ、現在の京都市右京区・角坊別院で往生されました。ご遺骨は東山大谷の「大谷本廟」に納められています。



ご往生の様子(御絵伝)

と伝えられ、「善人なほもつて往生をとく。いはんや悪人をや」(悪人正機説)の言葉があります。御文章は八代宗主の蓮如上人が書かれたもの。

落語や講談の源流

「節談説教」

講師

 本願寺派布教使
 東保流節談説教 説教者

 谷口 璽照氏
じしやう

—— 娯楽あふれる話芸 ——

布教使を目指して京都・ご本山の研修会に参加すると筆記と布教実演がありました。私は節談を弁じたい為に布教使になろうとしていましたので、節談調で布教実演しましたら、とても驚かれました。

終わってから廊下に出ますと75歳になろうかという老僧が話しかけてきました。
 「本願寺にそのような説教がありましたか？」



昔は今のような演台を前にして黒板を背にした法話ではなく、商家と同じように高座に上がっての節談が主流だったのです。しかし現在では節談説教者は全国で10人ほどです。野生動物でさえ1000頭ほどになりますと絶滅危惧種となります。まして節談説教者を簡単に「誕生」させることはできません。邦楽の節ものは10年、20年

という年季をかけないとなかなか様にならないのです。

開法の宗派と言われている浄土真宗の中で隆盛を極めたのが節談でした。それは落語や講談、浪花節など様々な芸能と深い関わりをもった娯楽あふれる話芸でした。

節談と言いましても遠藤流に調流、椿原流に渥美流と色々な流派があります。現在、CDやテープに残っているほとんどが能登節というお東(真宗大谷派)の系統ですが、その昔にお西(浄土真宗本願寺派)の説教に東保流ありとうたわれたのが、兵庫県揖保郡太子町東保・福専寺の播州節でした。

江戸時代後期から昭和30年頃までは、富山、山口、和歌山など全国の寺院子弟が門を叩いて、一番多い時で門弟1000人に及んだそうです。ちなみに現在、本願寺派の布教使は3400人ほどです。各地で「東保流が来てござるそうな。どんな話をするかちよっと参って聞いてみようか」と興味を持たれた聴聞客も多々あったようです。



「目覚めの枕の口ずさみ 南無阿弥陀仏 なもあみだぶつ」

今ではなかなか聞けなくなつたその節談、皆さんのご先祖さまもお聞きになられたであろう、その懐かしい響きである節談を、ご先祖さまと一緒に参ってお聞かせ頂いたとお味わください。

〔2010(平成22)年6月11日
 築地本願寺・講堂 参加者 117人〕

第5期

連続研修会 修了

2年間にわたり開催された第5期連続研修会（全12回）がこのほど修了しました。50人以上のご門徒が参加し、各回の話し合い法座では多様な意見が交換されました。最初は余所余所しかった参加者も次第に打ち解け、家族の死に対する思いや、浄土真宗の教えなどについて活発に話し合いました。



平成23年度の
行事予定

総代・世話人研修会 ▼ 4月9日(土)
大遠忌団体参拝 ▼ 6月9日(木)～11日(土)
仏教壮年講座 ▼ 10月8日(土)

敬申

徳浄寺住職

菅原 祐元 師(86歳)

平成22年6月24日

修了者

最徳寺	清水 勉
報身寺	斎藤貞三郎・竹沢 利夫
延徳寺	戸張誠之助 小澤枝里子・近藤 義雄
福称寺	加藤 公子・神林 静 小林 玲子・八代 幸子
妙覚寺	染谷 喜江・中西 亮
善永寺	木脇登美枝・高田美和子
浄興寺	小津 正良・後藤 英朗 清水はりえ・志水 光子
唯称寺	西元 晶世 今井 久雄・細川 久信
西教寺	森田 宗美・吉松 圭介 若島 信子
善照寺	川崎正次郎・川崎 雪子 佐藤 良一・牧野 恭子
	和田 フミ
	幸上アイ子・斎藤 誠
	鈴木 幸子・松崎 篤夫
	松村 利子・山田 恵一

(敬称略)

南組に所属する浄土真宗本願寺派(お西)のお寺です

西光寺	さいこうじ 品川区大井4-22-16	☎ 3777-6070
最徳寺	さいとくじ 大田区大森北3-18-25	☎ 3761-6811
徳浄寺	とくじょうじ 大田区大森東1-16-22	☎ 3761-4127
厳正寺	ごんしょうじ 大田区大森東3-7-27	☎ 3761-4945
久宝寺	きゅうほうじ 大田区本羽田3-17-1	☎ 3742-0886
海岸寺	かいがんじ 大田区本羽田3-17-6	☎ 3742-0921
福泉寺	ふくせんじ 大田区萩中3-27-10	☎ 3742-2048
光教寺	こうきょうじ 大田区中央4-35-3	☎ 3771-9408
専浄寺	せんじょうじ 世田谷区等々力6-7-10	☎ 3701-4753
報身寺	ほうしんじ 大田区萩中1-11-16	☎ 3738-0870
正覚寺	しょうがくじ 大田区萩中1-13-13	☎ 3731-9212

延徳寺	えんとくじ 大田区萩中1-12-17	☎ 3732-1472
福称寺	ふくしょうじ 大田区萩中1-12-20	☎ 3738-1720
妙覚寺	みょうかくじ 大田区萩中1-12-29	☎ 3738-3091
善永寺	ぜんえいじ 大田区萩中1-11-24	☎ 3739-5641
真光寺	しんこうじ 大田区萩中1-13-6	☎ 3731-5644
浄興寺	じょうきょうじ 大田区東矢口2-10-9	☎ 3759-8673
唯称寺	ゆいしょうじ 品川区小山4-9-15	☎ 3782-2486
宗導寺	しゅうどうじ 目黒区目黒本町6-19-3	☎ 3712-6811
西教寺	さいきょうじ 品川区豊町1-8-12	☎ 3781-6154
善照寺	ぜんしょうじ 大田区南馬込4-9-11	☎ 3771-8700
永正教会	えいしょうきょうかい 目黒区鷹番2-17-5	☎ 3714-0767



写真特集

お待ち受け法要

南組では昨年10月2日、大遠忌への気運を高めようと「お待ち受け法要」を築地本願寺の本堂で勤修。約500人のご門徒が参拝しました。内容は僧侶19人によるおつとめやタレント・島田洋七さんの講演、仏教讃歌のコーラスなど盛りだくさん。写真特集で振り返ります。

入堂



華葩(蓮の花をかたどった紙)6千枚を頭上に散華しました。(表紙に関連写真)初めての試みでしたが、賑々しく、そして厳粛な法要となりました。

おつとめ



参拝者



参拝者も一緒に正信偈を唱和。大きな本堂にお念仏の音が響き渡りました。

挨拶



桜井寛明組長が「一人ひとりが伝道者となり、念仏のなかまの輪を広げましょう」と呼びかけました。

講演



コーラス



最後は最徳寺、浄興寺、唯称寺のご門徒26人による仏教讃歌のコーラス。パイプオルガンの伴奏で、心地よい歌声につつまれました。

タレントの島田洋七さんが、「がばいばあちゃん お寺へ行こう」と題して、お念仏の教えに生きられたお祖母さんとのエピソードなどを楽しくお話いただきました。